

【諸般の報告・その他の関係】

問 宇野 裕委員

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉について、新聞報道によると、給与の40%カットを提案していると聞いているが、県としての支援をどのように考えているのか。

答 小倉文化振興課長

現在、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉と楽団員が構成する組合とで、平成19年度の運営方針について協議しており、この中で給与の40%カットの提案がなされている。ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉に対しては、県から9,000万円余の事業費・人件費補助を行ってきており、労使の合意が得られれば、今後とも支援を続けていきたい。公立のオーケストラが県や市町村等の公的な支援のない完全な自立をすることは困難であるが、さまざまな工夫は必要であると考えている。全国でも、札幌や神奈川などでは努力して経営危機を切り抜けている。例えば、今まで行っていなかったゲネプロを公開するとか、いろいろなところに出かけて県民に身近に音楽に親しんでもらうといった今まで以上の努力が必要である。また、実稼動日数が相当減少していることから、勤務実態と給与実態が合わないということが生じており、これを見直していかなければ抜本的な改革にならないので、そのようなことを含め、労使交渉が進められている。

---

要望

【諸般の報告・その他の関係】

宇野 裕委員

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉について、「文化振興の観点から、子供たちにプロのすばらしい演奏を聞かせる学校音楽鑑賞教室

は非常に大事である。ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉がよい演奏を続けられるよう、今後とも支援してほしい。」との要望があった。

---